

文献調査分科会報告

(文献検索ソフト使用による文献検索の試み)

大石 久己 (工学院大)	○尾崎 雅亮 (神奈川県産総研)
佐藤 利和 (ブリュール・ケアージャパン)	高田 省一 (都立産技研)
山口 道征 (エム・ワイ・アコーステク)	新田隆行 (制振工学研究会)

A Report of Working Collection of Articles about Vibration Damping Technology

Hisami Ohishi (Kogakuin University)	Masaaki Ozaki (KITRI)
Toshikazu Satoh (B&K Japan)	Shoichi Takada (TMITRI)
Michiyuki Yamaguchi (M. Y. Acoustech)	Takayuki Nitta (SDT)

文献調査分科会では毎月機械、建築、土木、音響、騒音制御、自動車技術等の主要学会の論文集から制振工学に関連した論文の情報を収集しリスト化しており、当研究会のホームページ上でもこの情報を公開している。この文献リストは当研究会独自のSDT分類コードによっても分類されており、会員のために便宜を図っている。今回の報告では、更に使いやすさを目指し、SDT分類コードで検索できる文献検索ソフト（フリーソフトを利用して作成）を構築したのでここに披露し、会員各位のご意見を戴きたい。

Key Words: 文献検索, SDT分類コード

1. はじめに

文献調査分科会では機械、建築、土木、音響、騒音制御、自動車技術等、国内主要学会の論文集から制振工学に関連した論文の調査を毎月行っており、リスト化している。これまでに当研究会独自のSDT分類コード（当資料集のプログラムの後にも掲載されている）で分類を始めてから1000件を超えるデータが蓄積された。毎月のデータは「文献速報」や「会報」を使って印刷された情報として会員の手元に配布されている。制振工学研究会のホームページが整備されてからは文献調査分科会の会員用ページに2001年3月以降のデータが月別に掲載されており、会員はいつでも過去のデータを含めて閲覧することが出来るようになった。

しかし、これらのデータは文献検索ソフトウェアを用いてSDT分類コードで検索がで

きれば更に便利になると思われる。そこでデータベース用フリーソフトウェアを使って簡易版のSDT文献検索ソフトウェアを作製し、その検索結果を確認した。

2. SDT文献検索ソフトウェア

今回使用したデータベース用フリーソフトウェアはfuru(古河勝)氏作製の!0_0!なんでもデータベースVer.2.1である。添付の仕様説明書によればエクセルのマクロを利用して作製されており、自由に設計できる汎用型データベースソフトで文献管理、機器管理、名簿管理等に適していると説明されている。今回このソフトをSDT文献検索用ソフトウェアにアレンジした。また検索データはCSV形式のファイルで記述される。図1にSDT文献検索画面を示す。また、表1にSDT分類コードで検索したリスト例(一部分)を示す。